**倫理審査申請用利益相反(COI)申告書**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 申告者氏名 |  | 所属機関 |  |
| 職位・職業 |  |
| 研究課題名 | 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |

上記の研究に対し、申請者が複数の場合は、各自COI申告書を作成してご提出ください。なお、開示すべきCOIは、申請時から遡って1年以内の状況が対象です。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項目 | 該当の状況 | 該当状況が「有」の場合は、企業名などをご記載ください。 |
| 1. 1企業・営利団体の役員、顧問職または従業員として、年間100万円以上のものを受領
 | （本人）有・無 |  |
| （親族）\*有・無 |
| 1. 株の保有が1企業より1年間の利益が100万以上、又は当該株式を5％以上保有
 | （本人）有・無 |  |
| （親族）\*有・無 |
| 1. 1企業・営利団体から知的財産権の使用料として年間100万円以上のものを受領
 | （本人）有・無 |  |
| （親族）\*有・無 |
| 1. 1企業・営利団体より会議の出席や発表に対し、日当・講演料など年間50万円以上のものを受領
 | （本人）有・無 |  |
| 1. 1企業・営利団体から支払われた執筆に対する原稿料など年間50万円以上のものを受領
 | （本人）有・無 |  |
| 1. 1企業・営利団体から研究費（受託もしくは共同研究）を年間100万円以上のものを受領
 | （本人）有・無 |  |
| 1. 1企業・営利団体から研究寄付金として年間100万円以上のものを受領
 | （本人）有・無 |  |
| 1. 企業・営利団体からの寄付講座に所属している
 | （本人）有・無 |  |
| 1. 1企業・営利団体から研究とは無関係の旅行・贈答品など年間5万円以上のものを受領
 | （本人）有・無 |  |

＊：配偶者および一親等の親族。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　上記の申告状況に相違ありません。

申告日：西暦　　　　　年　 　月 　　日　　署名：　 　　　　　　　　　印

該当者のみ提出

本申請に関して、申告者が利益相反状態にある場合は、予想される利益相反状態およびそれらを回避・最小限に留めて、研究の倫理的妥当性と科学的合理性を担保するための具体的な方策を以下にご記入ください。

|  |
| --- |
| 具体的な方策の記載欄 |
| 記入例：本研究に関して、（株）○○○と受託研究の契約書を交わし、研究費用として△△△円および研究装置☆☆☆の提供を受ける予定であり、（　　　　　　　　）において、利益相反状態が発生する。この利益相反状態を回避し研究成果の客観性を保つための具体的な方策を下記に示す。（例文１） データ解析については、利益相反関係にある研究者自身は、原則として直接のデータ解析には関与しないこととする。データ解析に関与する必要がある場合には、複数の研究者が相互にデータをチェックできる体制で行うこととする。（例文２）研究装置☆☆☆を用いたデータ取得および解析に利益相反関係のある研究者の協力が必要である。この場合には、データの取得および解析に際して客観性が確保されるように、利益相反関係のない研究者（□□□、◇◇◇）が立ち会うこととする。（例文３） サンプルデータは10年間保管し、いつでも監査できる状態とする。また、研究進行中に、中間解析時点ならびに最終解析時点において、第3者（　　　　　　　）によるモニタリングを行うこととする。 |
|  |

申告日：西暦　　　　　年　 　月 　　日　　署名：　 　　　　　　　　　印